

2025 年 3 月 31 日

連結子会社株式の追加取得による完全子会社化に関するお知らせ

株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃）は、連結子会社のエリクサジェン・サイエンティフィック（本社：米国メリーランド州ボルチモア、CEO：杉本 慶樹、以下 eSci 社）株式の 44.4%を追加取得し、完全子会社化することを決定しました。本日、3 月 31 日に本追加取得に関する契約の締結と株式取得手続きが完了しましたのでお知らせします。なお、本追加取得に伴う当社の業績への影響は軽微です。

1. 株式追加取得の理由

当社は 2013 年から当社の保有するプリンター技術を応用したバイオプリンターを活用し、細胞応用への検討を開始しました。そして、2019 年に eSci 社に出資し、バイオプリンターとのシナジーを目指した共同事業を開始しました。2022 年の連結子会社化以降は、リコーがこれまで培ってきた生産工程の自動化技術や生産管理ノウハウの提供を通じ、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）から分化させた細胞を用いた創薬支援事業（iPS 事業）と mRNA（メッセンジャーRNA）原薬を用いた CDMO 事業を両社で進めてまいりました。この度、iPS 事業と CDMO 事業の将来的な成長が見込めると判断し、完全子会社化することにしました。

引き続きバイオメディカル事業を通じて高齢化やパンデミックなどの社会課題を解決するための創薬基盤の整備・構築を加速し、人々の健康と安心への貢献を目指します。

2. eSci 社について

eSci 社は、iPS 細胞や ES 細胞（胚性幹細胞）をさまざまな細胞へ分化誘導が可能な独自の「Quick-Tissue™」技術を有しており、iPS 細胞を用いた創薬研究や疾患研究の効率化に貢献しています。また、本技術における分化の過程で mRNA を用いることから、mRNA の設計や製造においても、eSci 社は強みを有しています。

会社名： Elixirgen Scientific, Inc.
設立年月： 2016 年 10 月
所在地： 米国メリーランド州ボルチモア
代表者： Chief Executive Officer 杉本 慶樹
事業内容： iPS 細胞・ES 細胞から特定の細胞への分化誘導方法の開発
分化試薬キット、分化細胞の製造・販売
iPS・ES 細胞の分化サービスの提供
mRNA 開発製造受託サービスの提供
U R L： <https://www.elixirgensci.com/>

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

関連ニュース

iPS 細胞を活用したバイオメディカルの共同事業を北米中心に開始

https://jp.ricoh.com/release/2019/0619_1

リコー、mRNA を活用した創薬支援事業を強化

https://jp.ricoh.com/release/2022/0517_1

* 社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2024年3月期グループ連結売上高2兆3,489億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>